

BOSE

ULTRA OPEN EARBUDS

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

CE Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

**UK
CA** この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。www.Bose.com/compliance

安全上の留意項目

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Bose カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。



警告/注意

- 誤って飲み込まないように、本製品はお子様やペットが触れない場所に置いてください。本製品にはバッテリーが内蔵されているため、飲み込むと事故につながる恐れがあります。飲み込んでしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。使用していないときは、本製品をお子様やペットの手の届かないところに保管してください。
- 本製品はお子様のご使用を想定していません。
- 耳への負担を避けるため、ヘッドホンを大音量で使用しないでください。再生機器の音量を下げてからヘッドホンを耳に装着し、快適な適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- 耳への負担を避けるため、イヤホンスピーカーを直接耳に挿入しないでください。スピーカーが耳の内側に、パレルが耳の後ろにくるようにイヤホンを装着してください。イヤホンの装着方法については、13ページをご覧ください。
- 車両の運転中に本製品を使用することは、一部の国や地域では法律で禁止されている場合があります。使用について十分な注意を払い、適用される法律に従ってください。本製品の使用により、注意力が低下する場合や、自動車の運転中にアラームや警告音など周囲の音が聞き取れなく場合は、直ちに使用を中止してください。
- ヘッドホンを使用しながら、注意力が求められる活動をする場合は、注意してください。車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音がはっきり聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ヘッドホンを使用しないでください。
- 本製品を水に沈めたり、長時間水にさらしたりしないでください。
- 製品から熱が発生していることに気づいたら、すぐに外してください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- ・ 許可なく製品を改造しないでください。
- ・ 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・ この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。
- ・ 本製品に付属のバッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプのバッテリーと交換したりすると、火災や化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- ・ バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり目に入れたりしないでください。液が身体に付着した場合は、医師の診断を受けてください。
- ・ バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- ・ 充電する前に、イヤホンと充電ケースから汗を拭き取ってください。
- ・ IPX4およびIPX1は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていることを確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

FCC ID: A94926L / **A94926R** | **IC:** 3232A-926L / 3232A-926R

ケースの型番: 438926 | **右イヤホンの型番:** 926R | **左イヤホンの型番:** 926L

このシステムのイヤホンは、電波法に定められた規定に従って認定されています。



020-230336

020-230337

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz | 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満

比吸収率(SAR)に関する情報

イヤホン	測定値 1-g SAR W/kg	測定値 10-g SAR W/kg
左	0.46	0.18
右	0.57	0.22



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されるようになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則

会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

この製品からリチウムイオンバッテリーを取り外さないでください。取り外しはサービス担当者にお任せください。



廃電池請取

使用済みの電池は、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。

電力状態に関する情報: 本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令 2009/125/EC およびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則 2020 に基づき、欧州委員会規則(EU) 2023/826 に適合しています。さまざまなスタンバイモードにおける消費電力や、本製品が自動的にそれらのモードに戻るまでの時間に関する情報については、www.Bose.com/compliance にアクセスし、該当する規則を選択してください。



有毒/有害物質または成分の名称および含有量

	有毒/有害物質および成分									
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミ ウム (Cd)	六価ク ロム (CR(VI))	ポリ臭化ビ フェニル (PBB)	ポリ臭化ジ フェニル エーテル (PBDE)	フタル 酸ジブ チル (DBP)	フタル酸 ジイソ ブチル (DIBP)	フタル酸 ブチルベ ンジル (BBP)	フタル酸ビス (2-エチルヘキ シル)(DEHP)
PCB	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
プラスチック パーツ	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。										
O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。										
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。										



機器名: イヤホンおよび充電ケース型式: 438926

制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁶⁺)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	O	O	O	O	O
金属/パーツ	-	O	O	O	O	O
プラスチックパーツ	O	O	O	O	O	O
スピーカー	-	O	O	O	O	O
ケーブル	-	O	O	O	O	O
注1: 「O」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。						
注2: 「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「4」は2014年または2024年です。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Vijzelstraat 68, 1017HL Amsterdam, The Netherlands | Ingram Micro Mexico SA de CV, Joselillo 3 Int. Piso 5 Col. El Parque, Naucalpan de Juarez, Edo Mex 53398 電話番号: +52 55 5263 6500 | Bose Limited (H.K.), 7F., No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 104511, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, 16 Dufour's Place, London W1F 7SP

メキシコのサービスの電話番号: 0800-266-0292

出力容量: 350mAh | **IPXX保護等級:** IPX4 (イヤホン)、IPX1 (充電ケース)

入力定格 - 左イヤホン: DC 5V、0.013A | **入力定格 - 右イヤホン:** DC 5V、0.013A

CMIIT IDはカートンにあります。

本製品には **Boseの利用条件** が適用されます: [worldwide.bose.com/termsofuse](https://www.worldwide.bose.com/termsofuse)

ライセンス開示情報: Bose Ultra Open Earbuds のコンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、**Bose** アプリを使用します。この情報は設定メニューから表示できます。

Apple、Apple のロゴ、iPad、および iPhone は Apple Inc. の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき日本で使用されています。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。

Made for Apple バッジの使用は、アクセサリがバッジに記載されている Apple 製品への接続専用設計され、Apple 社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。Apple 社は、本製品の動作や、安全性および規制基準の適合性について、一切の責任を負いません。

Bluetooth® のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose Corporation はこれらの商標を使用する許可を受けています。

Google、Android、および Google Play は Google LLC の商標です。

Snapdragon Sound は Qualcomm Technologies, Inc. とその子会社の製品です。Qualcomm、Snapdragon、および Snapdragon Sound は Qualcomm Incorporated の商標または登録商標です。

USB Type-C® および USB-C® は、USB Implementers Forum の登録商標です。

Bose、B のロゴ、および SimpleSync は、Bose Corporation の商標です。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2026 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

シリアル番号と認証マークの位置: 日付コードと一部の認証マークは、イヤホンの平らな内面に記載されています。スピーカー部分を持ち、バレルをやさしく開いて、情報が見えるまで広げてください。シリアル番号とその他の認証マークは、充電ケースの蓋の内側に記載されています。

製品情報の控え

シリアル番号: _____

モデル番号: 438926

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社 Web サイト ([worldwide.Bose.com/ProductRegistration](https://www.worldwide.Bose.com/ProductRegistration)) から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物	11
-----------	----

BOSE アプリのセットアップ

Bose アプリをダウンロードする	12
イヤホンを既存のアカウントに追加する	12

装着方法

イヤホンを装着する	13
フィット状態をチェックする	14

電源

電源オン	15
電源オフ	16

イヤホンの操作

メディアの再生	17
音量調節機能	18
自動音量調節	18
通話	19
着信の通知	19
オーディオ EQ を調節する	19

ショートカット

ショートカットを使用する	20
ショートカットを変更する、無効にする	20

イマーシブオーディオ

イマーシブオーディオ設定.....	21
イマーシブオーディオ機能の設定変更	22
モードを変更する	22
ショートカットを使用する.....	22
通話中のイマーシブオーディオ機能について	22
イマーシブオーディオの調整.....	22

リスニングモード

モード	23
モードを変更する	24
イヤホンのモードを追加する、削除する	24

機器の音声コントロール

機器の音声コントロール機能.....	25
--------------------	----

バッテリー

イヤホンを充電する	26
充電ケースを充電する	27
イヤホンの充電状態を確認する	28
イヤホンの使用中	28
イヤホンの充電中	28
充電ケースのバッテリー残量を確認する	28
充電時間	29

イヤホンと充電ケースの状態

イヤホンのステータスインジケーター	30
Bluetooth®の状態.....	30
バッテリー、アップデート、エラーの状態.....	31
充電ケースのステータスインジケーター	32
バッテリー、アップデート、エラーの状態.....	32

BLUETOOTH接続

Bose アプリを使用して接続する	33
機器の Bluetooth メニューを使用して接続する	33
機器の接続を解除する	34
機器に再接続する	35
最後に接続していた機器に再接続する	35
別の機器に再接続する	35
別の機器を接続する	36
接続されている2台の機器を切り替える	36
イヤホンのデバイスリストを消去する	37
Android™ デバイスのみ	38
Fast Pair 機能を使用して接続する	38
Snapdragon Sound™ テクノロジー	39

BOSE 製品への接続

Bose Smart Speaker または Bose Smart Soundbar に接続する	40
特長	40
対応製品	40
Bose アプリを使用して接続する	41
Bose Smart Speaker または Soundbar に再接続する	41
対応する Bose Smart Soundbar でパーソナルサラウンドにアクセスする	42
特長	42
パーソナルサラウンドを無効にする	42
パーソナルサラウンドオーディオの設定を調整する	42
イマーシブオーディオとパーソナルサラウンド有効時のショートカット	42

防水性能	43
------------	----

補足事項

イヤホンを保管する	44
イヤホンと充電ケースのお手入れ	44
交換部品とアクセサリ	44
保証	44
イヤホンをアップデートする	45
充電ケースをアップデートする	45
日付コード、シリアル番号、認証マークの位置	45

トラブルシューティング

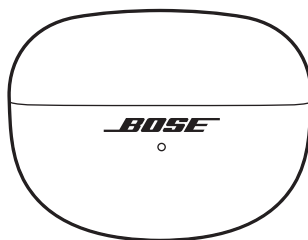
最初にお試しいただくこと	46
その他の対処方法	46
イヤホンと充電ケースをリセットする	56
イヤホンを工場出荷時の設定に戻す	57

内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose Ultra Open Earbuds



充電ケース



USB Type-C® - USB-A ケーブル

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/UOEをご参照ください。

Bose アプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどの機器からイヤホンのセットアップや操作ができます。

このアプリを使用して、**Bluetooth** 接続の管理、イヤホンの設定の管理、音量の調節、音声ガイドの言語の選択、Bose が今後提供するアップデートや新機能の適用を行うことができます。

注: 別の Bose 製品用の Bose アカウントを既に作成してある場合は、「イヤホンを既存のアカウントに追加する」をご覧ください。

BOSE アプリをダウンロードする

1. お使いの機器で Bose アプリをダウンロードします。



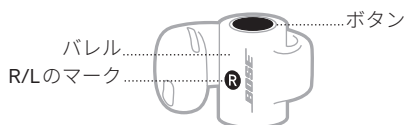
2. アプリの手順に従ってください。

イヤホンを既存のアカウントに追加する

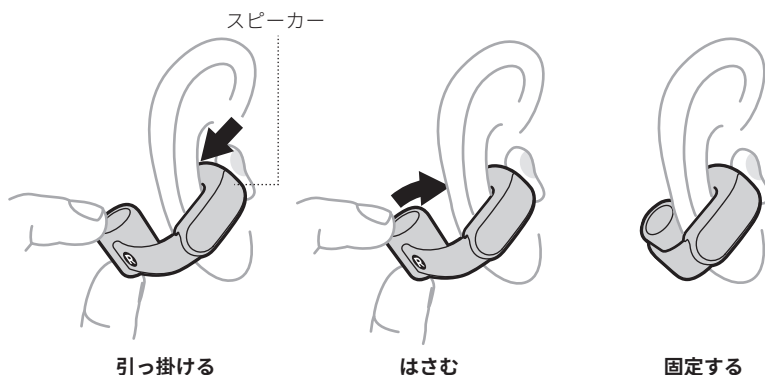
Bose Ultra Open Earbuds を追加するには、Bose アプリを開き、製品リスト画面からイヤホンを追加します。

イヤホンを装着する

1. ボタンを上にしてイヤホンのバレル型の部分を持ち、**R**(右)または**L**(左)のマークを自分の方に向けます。



2. イヤホンスピーカーを耳に引っ掛け、バレル部分が耳の後ろにくるようにして巻きつけます。



3. 最高の音質と性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約**45度**の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。

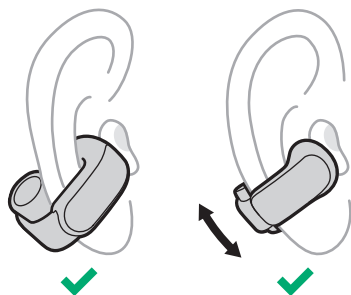


4. フィット状態をチェックします(14ページを参照)。
5. 手順1から4を繰り返して、もう片方のイヤホンを装着します。

フィット状態をチェックする

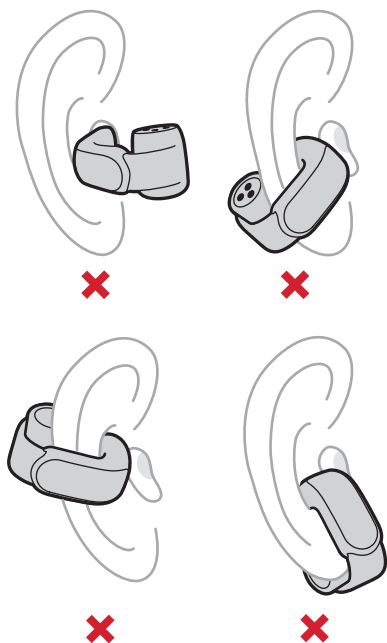
頭を上下左右に動かして、イヤホンが安定して快適な状態であることを確認します。その後、鏡を使ってフィット状態をチェックしてください。

正しくフィットしている



- ・イヤホンのバレル部分は耳の後ろにあり、ボタンは上を向いています。
- ・イヤホンスピーカーは耳の内側にあり、耳の穴には挿入されていません。
- ・イヤホンは耳に対して約45度の角度でフィットしますが、快適さを求めて上下に少しスライドさせることもできます。
- ・イヤホンは快適な装着感で安定しています。

フィットしていない

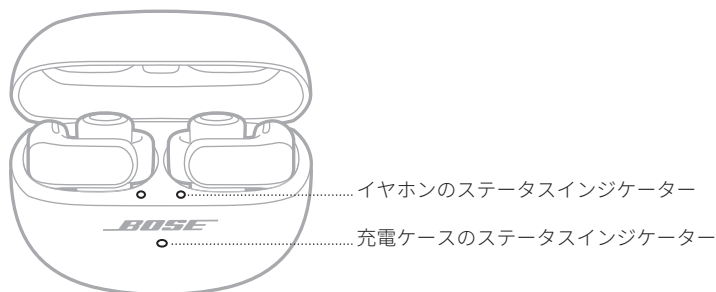


- ・イヤホンのバレル部分が耳の前側にあるか、ボタンが下を向いています。
- ・イヤホンスピーカーが耳の内側の面にあるのではなく、耳の穴に挿入されています。
- ・イヤホンが顎や口に向かって下向きに傾いています。
- ・イヤホンに不快感、耳を挟んでいる、ゆるい、不安定などの感覚があります。

電源オン

充電ケースを開きます。

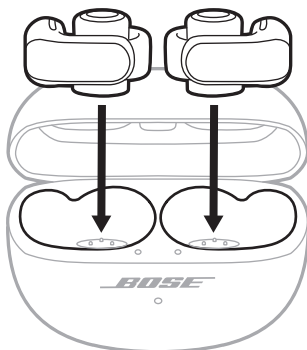
イヤホンの電源がオンになります。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(30ページを参照)。現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(32ページを参照)。



注: 充電ケースからイヤホンを取り出すときは、バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

電源オフ

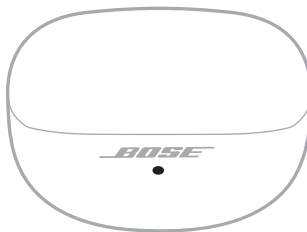
1. 両方のイヤホンを充電ケースに入れます。



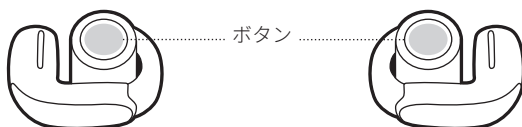
イヤホンと機器の接続が解除され、電源がオフになります。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(32ページを参照)。

2. ケースを閉じます。

現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(32ページを参照)。

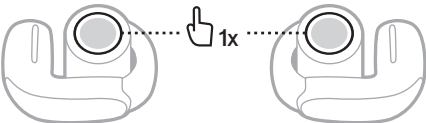
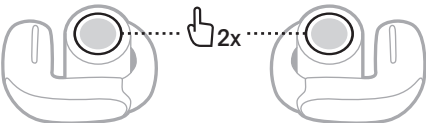
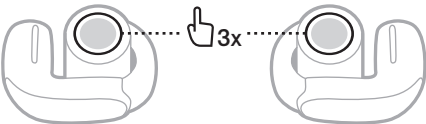


左右のイヤホンのバレル部分の上部にボタンが1つずつあります。このボタンを使用して、メディアの再生、音量調節、通話機能、ショートカット機能进行操作します(20ページを参照)。



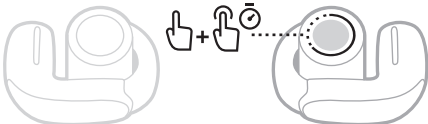
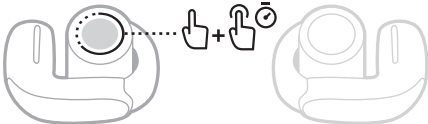
注: 音量調節を除くすべての機能は、どちらのイヤホンのボタンでも操作できます。音量調節については、左右のイヤホンのボタンで操作する機能が異なります(18ページを参照)。

メディアの再生

コントロール	操作方法
再生/一時停止	どちらかのイヤホンのボタンを押します。 
次のトラックへ送る	どちらかのイヤホンのボタンを続けて2回押します。 
前のトラックへ戻す	どちらかのイヤホンのボタンを続けて3回押します。 

音量調節機能

コントロール 操作方法

音量を上げる	右イヤホンのボタンを続けて2回押し、そのまま長押しします。 ボタンを押し続けると音量が上がります。希望する音量になったら指を放します。	
音量を下げる	左イヤホンのボタンを続けて2回押し、そのまま長押しします。 ボタンを押し続けると音量下がります。希望する音量になったら指を放します。	

ヒント: また、機器の音量コントロールまたはBoseアプリで音量を調節することもできます。

自動音量調節

このイヤホンは、周囲のノイズレベルに応じて音量を自動的に調節できます。そのため、オーディオの音量が周囲に対して一定に保たれます。

自動音量調節が有効の場合、ノイズレベルが設定された基準音量より高くなると、数秒後にオーディオの音量が比例して大きくなります。ノイズレベルが下がると、オーディオの音量が設定された基準音量のレベルに戻ります。

注:

- ・ ノイズに反応して音量が上がるまで数秒かかる場合があります。
- ・ 電話をかけたり受けたりする際は、自動音量調節が一時的に無効になります。通話を終了すると、自動音量調節は以前の設定に戻ります。

自動音量調節を有効にする

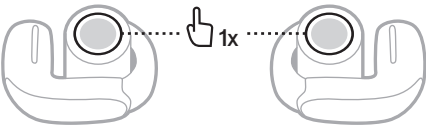
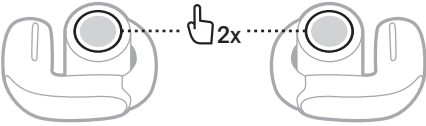
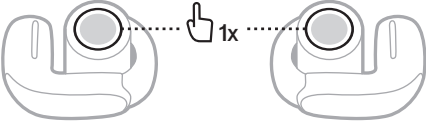
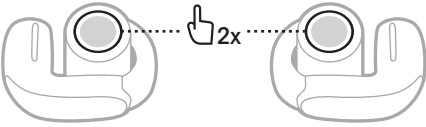
自動音量調節はデフォルトで無効になっています。自動音量調節を有効にするには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

自動音量調節が有効の場合に手動で音量を調節する

手動で音量を調節するには、イヤホンのコントロール(「音量調節機能」を参照)または機器の音量コントロールを使用して、音量の変化を耳で確認します。

注: イヤホンがノイズに応じて音量を上げている場合、手動で音量を調節しても、基準音量設定を現在のレベルより上げない限り、効果は最小限か一時的なものにしかならない可能性があります。その状況で音量を下げるには、Boseアプリを使用して自動音量調節を無効にします。

通話

コントロール	操作方法
着信に応答する	どちらかのイヤホンのボタンを押します。 
終話する/着信を拒否する	どちらかのイヤホンのボタンを続けて2回押します。 
通話中の相手を保留にして割り込み着信に応答する	どちらかのイヤホンのボタンを押します。 
割り込み着信を拒否して、現在の通話を続ける	どちらかのイヤホンのボタンを続けて2回押します。 

着信の通知

音声ガイドで、着信の発信元と通話の状態を通知します。

着信の通知を停止するには、**Bose**アプリを使用して音声ガイドを無効にします。このオプションは設定メニューから設定できます。

オーディオEQを調節する

低音、中音、高音を調節するには、**Bose**アプリを使用します。これらのオプションは製品コントロール画面から設定できます。

注: 大音量にすると、歪みを避けるためにこれらの調節の効果が小さくなる場合があります。

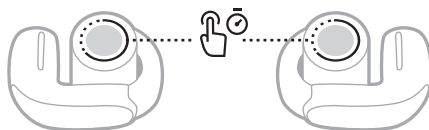
ショートカットを使用して、以下の機能にすばやく簡単にアクセスすることができます。

- モードを順に切り替える (23 ページを参照)
- イマーシブオーディオ設定を順に切り替える (21 ページを参照)
- 機器に接続する (35 ページを参照)、または接続機器を切り替える (36 ページを参照)
- 機器の音声コントロール機能を使用する (25 ページを参照)

注: デフォルトでは、モードの切り替えが両方のイヤホンでショートカットとして設定されています。

ショートカットを使用する

どちらかのイヤホンのボタンを長押しします。



ショートカットを変更する、無効にする

ショートカットの変更、無効化、左右のイヤホンへの異なるショートカットの割り当てには、**Bose** アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「ショートカット」をタップします。

注: 左右のイヤホンに異なるショートカットを割り当てた場合は、割り当てた方のイヤホンのボタンを長押しする必要があります。片方のイヤホンをケースに入れた場合、もう片方のイヤホンに割り当てられたショートカットしか使用できません。

イマーシブオーディオでは、頭の中で聞こえている音を目の前に定位させ、常に音響空間のスイートスポットにいるような感覚を味わうことができます。まるでイヤホンの外から音が聞こえてくるように感じるのも、より自然なリスニング体験ができます。イマーシブオーディオは、あらゆるソースのあらゆるストリーミングコンテンツに対応し、より透明感のあるサウンドと豊かな音質で新たなレベルへと導きます。

注: 電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます (22 ページを参照)。

イマーシブオーディオ設定

設定	説明	使用するタイミング
移動	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭の動きに合わせて位置が変わります。 注: イマーションモードでは、この設定がデフォルトで使用されます。	この設定を使用することで、より安定したリスニング体験が得られます。頻繁に首を回したり、下を向いたりするような活動をしているときに最適です。
静止	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭を動かしてもその位置は変わりません。 注記: - 頭の動きを止めてから数秒後、スピーカーは現在のポジションで音像の中央を設定し直します。 - この設定にアクセスするには、Bose アプリを使用してイマーシブオーディオ設定を変更するか、カスタムモードを作成するか (23 ページを参照)、イマーシブオーディオ設定を順に切り替えるショートカットを設定します (22 ページを参照)。	最もリアルで迫力のあるリスニング体験のために使用します。静止しているときに最適です。
オフ	サウンドはイヤホンから再生されているように聞こえます。 注: ステレオモードでは、この設定がデフォルトで使用されます。	従来どおりの方法でリスニングしたいときや、バッテリーの消耗を抑えたいときに使用します。

イマーシブオーディオ機能の設定変更

モードを変更するか、イマーシブオーディオ設定を順に切り替えるショートカットを設定することで、イマーシブオーディオの設定を変更できます。

ヒント: Bose アプリを使用してイマーシブオーディオ設定を変更することもできます。このオプションは製品コントロール画面から設定できます。

モードを変更する

モードの変更方法は、24 ページをご覧ください。

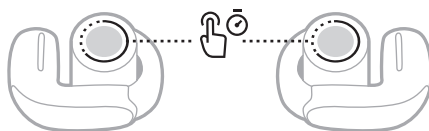
注: 好みのイマーシブオーディオ設定を含むカスタムモードを作成することもできます (23 ページを参照)。

ショートカットを使用する

イマーシブオーディオ設定を順に切り替えるショートカットを設定できます。この方法では、イヤホンの電源をオフにするか、モードを変更するまで、現在のモードが一時的にカスタマイズされます。

注: イヤホンを使ってイマーシブオーディオ設定を切り替えるには、ショートカットに設定する必要があります (20 ページを参照)。

1. このショートカットを割り当てたイヤホンのボタンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのイマーシブオーディオ設定が順に通知されます。

2. 希望する設定の名称が聞こえたら、ボタンから指を放します。

通話中のイマーシブオーディオ機能について

電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます。通話を終了すると、イヤホンは直前のイマーシブオーディオ設定に戻ります。

イマーシブオーディオの調整

イマーシブオーディオが正しく聞こえなかったり、近すぎると感じたりする場合は、耳に装着したイヤホンの位置に合わせて調整できます。この調整はイヤホンに保存され、今後イマーシブオーディオを有効にしたときにいつでも使用できます。

イマーシブオーディオを調整するには、Bose アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

リスニングモードはプリセットされたオーディオ設定で、リスニングの好みや環境に応じて切り替えることができます。デフォルトでは、一般的に使用されるイマーシブオーディオ設定で構成されています。

あらかじめ設定された2つのモード（ステレオ、イマーション）から選択できるほか、最大8つのカスタムモードを作成できます。

モード

モード	説明
ステレオ	最適なBoseステレオサウンドで音楽を楽しめます。従来どおりの方法でリスニングしながら、バッテリーの消耗を抑えることができます。
イマーション	「移動」に設定されたイマーシブオーディオで音楽が再生されます。臨場感あふれるサウンドに浸ることができます。
カスタム	音の好みや環境に合わせて、イマーシブオーディオ機能をカスタム設定できます。 注: Boseアプリを使用して、最大8つのカスタムモードを作成できます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。

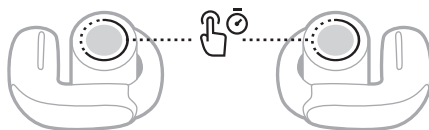
注:

- デフォルトでは、イヤホンの電源をオンにすると最後に使用したモードになります。この設定を無効にするには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。
- イマーシブオーディオ設定については、21ページをご覧ください。

モードを変更する

注: イヤホンを使ってモードを切り替えるには、ショートカットに設定する必要があります(20ページを参照)。デフォルトでは、モードの切り替えが両方のイヤホンでショートカットとして設定されています。

1. モードを順に切り替えるには、どちらかのイヤホンのボタンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのモードが順に通知されます。

2. 希望するモードの名称が聞こえたら、ボタンから指を放します。

ヒント: Boseアプリを使用してモードを変更することもできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。

イヤホンのモードを追加する、削除する

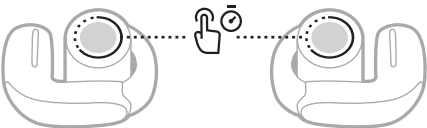
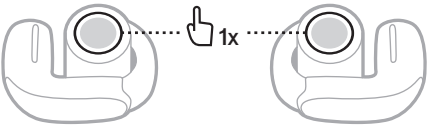
イヤホンのモードにアクセスするには、Boseアプリでお気に入りとして設定する必要があります。デフォルトでは、ステレオモードとイマーションモードがお気に入りとして設定されています。

イヤホンのモードを追加または削除するには、製品コントロール画面の「モード」をタップし、お気に入りに設定するモードを指定します。

ショートカットを設定することで、イヤホンを使って機器の音声コントロールにすばやくアクセスできます。イヤホンに内蔵されているマイクが機器の外部マイクとして機能します。

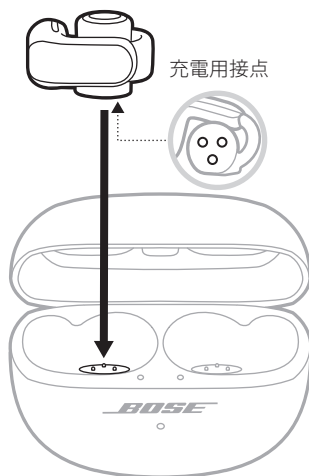
注: イヤホンを使って機器の音声コントロールを操作するには、ショートカットに設定する必要があります(20 ページを参照)。

機器の音声コントロール機能

コントロール	操作方法
機器の音声コントロール機能を使用する	ビープ音が聞こえるまで、このショートカットを割り当てたイヤホンのボタンを長押しします。放してから、リクエストを言います。 
機器の音声コントロール機能を停止する	このショートカットを割り当てたイヤホンのボタンを押します。 

イヤホンを充電する

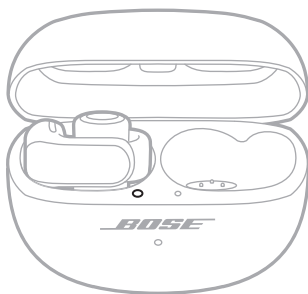
1. 左イヤホンの接点を充電ケース左側の充電端子の位置に合わせます。



注: 充電の前に、室温が8℃～39℃の範囲内であることを確認してください。

2. イヤホンをケースに入れると、磁石の力で定位置に収まります。

左イヤホンのステータスインジケータが充電状態に応じて点灯します (30 ページを参照)。



注: インジケータがオレンジ色の速い点滅になる場合は、イヤホンがケースに正しく収まっていません。解決方法は、31 ページをご覧ください。

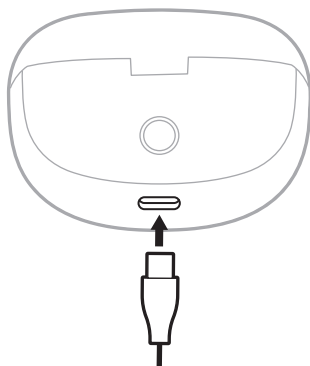
3. 手順1と2を繰り返して、右イヤホンも充電します。

注: イヤホンは、ケースが開いていても閉じていても充電されます。

充電ケースを充電する

注意: この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。

1. USBケーブルの小さい方のプラグを充電ケースの底面にあるUSB-Cポートに接続します。



2. もう一方のプラグをUSB-Aウォールチャージャー (別売)またはパソコンに接続します。

充電ケースのステータスインジケーターがゆっくりとオレンジ色で点滅します(32ページを参照)。

注: 充電の前に、室温が8°C ~ 39°Cの範囲内であることを確認してください。

イヤホンの充電状態を確認する

イヤホンの使用中

- ・ 充電ケースからイヤホンを取り出してから数秒後に、イヤホンのバッテリー残量を知らせる音声ガイドが流れます。
- ・ Bose アプリを使用します。イヤホンのバッテリー残量は製品コントロール画面に表示されます。

注: 片方のイヤホンのバッテリー残量がもう片方のイヤホンより低い場合、音声ガイドは低い方のバッテリー残量を通知します。バッテリー残量が低下すると、「バッテリー ロウ」と聞こえます。

イヤホンの充電中

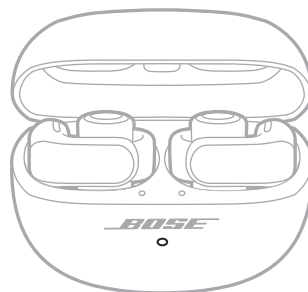
イヤホンを充電ケースに収納すると、イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します (30 ページを参照)。



充電ケースのバッテリー残量を確認する

充電ケースを開きます。

現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します (32 ページを参照)。



充電時間

コンポーネント	充電時間
イヤホン	最大1時間 ¹
充電ケース	最大3時間

注:

- イヤホンのバッテリー残量が少なくなった場合、ケースを閉じて10分間急速充電することで、最大2時間使用できます²。
- イヤホンを完全に充電した場合、イヤホンで最大7.5時間(イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンに設定した状態では最大4.5時間、両方の機能をオンに設定した場合は最大3.5時間)音楽を再生できます³。
- 完全に充電されたケースを使用すると、イヤホンでさらに最大19.5時間(イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンに設定した状態では最大12時間、両方の機能をオンに設定した場合は最大9時間)音楽を再生できます⁴。
- イヤホンとケースが完全に充電されている場合、イヤホンを最大27時間(イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンに設定した状態では最大16.5時間、両方の機能をオンに設定した場合は最大12時間)使用できます⁵。
- 完全に充電されたイヤホンは、音楽を再生しない状態で最大48時間、機器に接続しておくことができます⁶。
- イヤホンがケースに収納されている場合は、ケースの充電時間がこれより長くなることがあります。

1 Bose Ultra Open EarbudsおよびBose Ultra Open Earbuds充電ケースの製品サンプルを使用して、2023年10月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した状態(オーディオ再生ができない状態)のイヤホンをフル充電された充電ケースに収納して10分間充電する急速充電テストを実施し、その後、音量をラウドネス75dB、3バンドEQをゼロに設定して、イマーシブオーディオと自動音量調節をオフにしてオーディオ再生を再開した結果、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大2時間でした。イヤホンが完全に充電されるまでの時間は、バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)イヤホンをフル充電された充電ケースに収納し、イヤホンを100%充電することで求めました。

2 1.を参照。

3 2024年1月にBoseが実施したテスト結果。Bose Ultra Open Earbudsの製品サンプルとA2DP Bluetoothオーディオストリーミングを使用し、IEC 60268-1のピンクノイズをRSSI 75 dBmで再生しました。音量は再生ラウドネス75dBAに、3バンドEQはゼロに設定しました。イマーシブオーディオと自動音量調節をオフにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大7.5時間でした。イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大4.5時間でした。イマーシブオーディオと自動音量調節の両方をオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大3.5時間でした。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

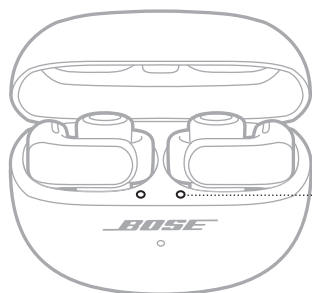
4 2024年1月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)Bose Ultra Open Earbudsの製品サンプルをフル充電されたBose Ultra Open Earbuds充電ケースに収納し、イヤホンを100%まで(またはケースのバッテリーが消耗するまで)充電しました。その後、A2DP Bluetoothオーディオストリーミングを使用し、イヤホンでIEC 60268-1のピンクノイズをRSSI 75dBmでバッテリーが消耗するまで再生しました。音量は再生ラウドネス75dBAに、3バンドEQはゼロに設定しました。テストはケースのバッテリーがなくなるまで繰り返しました。ケースの充電により追加されたイヤホン再生時間は、イマーシブオーディオと自動音量調節をオフに設定した状態で19.5時間、イマーシブオーディオと自動音量調節のどちらかをオンに設定した状態で12時間、イマーシブオーディオと自動音量調節の両方をオンに設定した状態で9時間でした。

5 4.を参照。

6 2023年10月にBoseが実施したテスト結果。Bose Ultra Open Earbuds充電ケースから完全に充電したBose Ultra Open Earbudsの製品サンプルを取り出し、コンテンツを再生していない状態で電話に接続し、イヤホンのバッテリーが消耗するまで接続を維持しました。

イヤホンのステータスインジケータ

イヤホンのステータスインジケータは、充電ケースの内側表面、各イヤホンの横にあります。



イヤホンのステータスインジケータ

Bluetoothの状態

Bluetooth接続の状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
青の遅い点滅	接続準備完了
青の速い点滅	接続中
青の点灯(5秒間)	接続済み
白の2回点滅	デバイスリストを消しました

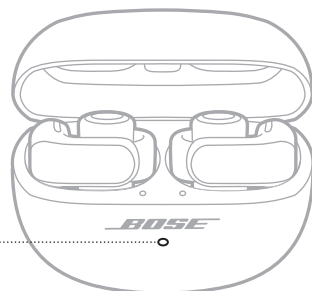
バッテリー、アップデート、エラーの状態

イヤホンのバッテリー、アップデート、エラーの状態を表示します。

インジケータの表示	システムの状態
白の点灯	充電完了
オレンジの遅い点滅	充電中
白の2回点滅、青の遅い点滅、オフ	再起動が完了しました
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中
オレンジの点滅(3秒間)	工場出荷時の設定に戻しています
オレンジの速い点滅	エラー - イヤホンが充電ケースに正しく収納されていません。次の解決策を試してください。 - イヤホンを取り出し、イヤホンの充電端子とケースの充電端子の位置が合っていることを確認します(26ページを参照)。 - ケースのイヤホン収納スペースの中からプラスチックフィルムを取り除き、イヤホンを収納する妨げにならないようにします。
オレンジと白の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

充電ケースのステータスインジケーター

充電ケースのステータスインジケーターは、充電ケースの前面にあります。



充電ケースのステータスインジケーター

バッテリー、アップデート、エラーの状態

充電ケースのバッテリー、アップデート、エラーの状態を表示します。

インジケーターの表示	システムの状態
白の点灯	充電完了 (100%)、電源接続中
白の点灯 (5 秒間)	充電済み (34% ~ 99%)
オレンジの点灯 (5 秒間)	バッテリー残量低下 (10% ~ 33%)
オレンジの 2 回点滅	充電が必要 (10% 未満)
オレンジの遅い点滅	充電中、電源接続中
白の 3 回点滅 (繰り返し)	ソフトウェアアップデート中
オレンジと白の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

Bose アプリ、デバイスの *Bluetooth* メニュー、または *Fast Pair* 機能 (Android デバイスのみ) を使用して、イヤホンを機器に接続できます。

イヤホンのデバイスリストには、機器を最大 6 台まで登録でき、同時に 2 台まで接続できます (マルチポイント接続)。ただし、一度に音楽を再生できる機器は 1 台だけです。

注:

- 最も良い方法は、**Bose アプリ** を使用して機器を設定し、接続することです (12 ページを参照)。
- *Fast Pair* を使用した接続については、38 ページをご覧ください。

BOSE アプリを使用して接続する

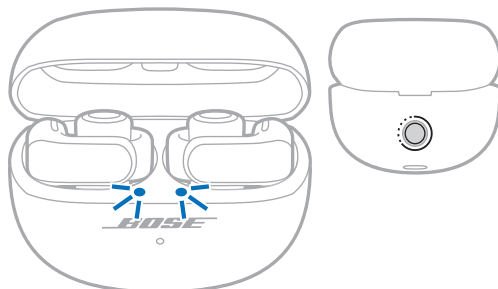
Bose アプリを使用してイヤホンを接続し、*Bluetooth* 設定を管理するには、12 ページをご覧ください。

機器の BLUETOOTH メニューを使用して接続する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。

ヒント: ケースが付近にない場合に、イヤホンを接続可能な状態にすることもできます。それには、**Bose アプリ** を使用して、ショートカットを「機器の切り替え」に設定します (20 ページを参照)。次に、「接続準備完了」と聞こえるまで、このショートカットを割り当てたイヤホンのボタンを長押しします。



- お使いの機器の *Bluetooth* 機能をオンにします。

注: 通常、*Bluetooth* 機能は設定メニューにあります。

- デバイスリストからイヤホンを選択します。

注: Bose アプリでイヤホンに付けた名前を探してください。イヤホンに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



デバイスリストにイヤホンの名前が「接続済み」と表示されます。イヤホンのステータスインジケーターが青に点灯します(30 ページを参照)。

機器の接続を解除する

イヤホンを充電ケースに入れます。

ヒント: Bose アプリまたは *Bluetooth* 設定を使用して機器の接続を解除することもできます。機器で *Bluetooth* 機能を無効にすると、イヤホンとその他の機器との接続がすべて解除されます。

機器に再接続する

最後に接続していた機器に再接続する

イヤホンをケースから取り出すと、イヤホンは最後に接続していた2台の機器に接続します。

注:

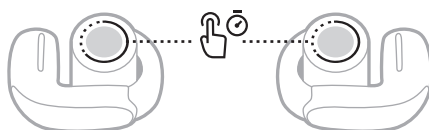
- ・ 機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- ・ 機器の *Bluetooth* 機能が有効であることを確認します。
- ・ マルチポイント 接続機能が無効の場合、イヤホンは最後に接続していた機器に再接続します。

別の機器に再接続する

イヤホンのデバイスリストにある別の機器に再接続するショートカットを設定できます。

注: イヤホンを別の機器に再接続するには、ショートカットを「機器の切り替え」に設定する必要があります(20 ページを参照)。

1. このショートカットを割り当てたイヤホンのボタンを長押しします。



音声ガイドで1台目の接続機器の名前が聞こえ、次に2台目の接続機器(ある場合)、続いてイヤホンのデバイスリストにある他の機器の名前が聞こえます。

2. 接続する機器名が聞こえたら、ボタンから指を放します。

機器が接続されると起動音が聞こえます。

ヒント: Bose アプリ(12 ページを参照)または機器の *Bluetooth* 設定を使用して、別の機器に再接続することもできます。

注: 既に2台の機器がイヤホンに接続されている場合、新しい機器が以前に接続されていた2台目の機器に代わって接続されます。

別の機器を接続する

デフォルトでは、イヤホンと同時に2台までの機器に接続できます(マルチポイント接続)。

別の機器を接続するには、**Bose アプリ**(12ページを参照)、機器の *Bluetooth* メニュー (33ページを参照)、または **Fast Pair 機能**(Android デバイスのみ) (38ページを参照)を使用します。

注:

- ・ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。
- ・マルチポイント接続機能の管理または無効化には、**Bose アプリ**を使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。
- ・マルチポイント接続機能が無効にすると、2台目に接続した機器の接続が解除されます。

接続されている2台の機器を切り替える

1. 1台目の機器の再生を一時停止します。
2. 2台目の機器で音楽を再生します。

イヤホンが2台目の機器からストリーミングされる音声に切り替わります。

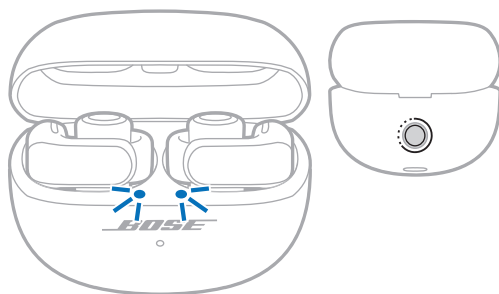
注:

- ・電話がかかってきたら、どちらの機器で音楽を再生しているかに関係なく、どちらからの着信でも受けることができます。
- ・通話中は機器の切り替えができません。

イヤホンのデバイスリストを消去する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターが白く2回点滅し、その後ゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを15秒間長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. 機器の *Bluetooth* リストからイヤホンを削除します。

すべての機器が消去され、イヤホンが新しい機器と接続可能な状態になります (12ページを参照)。

ANDROID デバイスのみ

Android デバイスを使用している場合は、次の接続機能にもアクセスできます。

Fast Pair 機能を使用して接続する

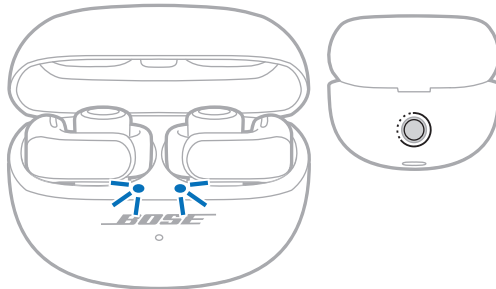
タップするだけで、イヤホンと Android デバイスをすばやく簡単に *Bluetooth* ペアリングできます。

注:

- Fast Pair 機能を使用するには、Android 6.0 以降を実行している Android デバイスが必要です。
- Android デバイスでは、*Bluetooth* 機能と位置情報機能がオンになっている必要があります。

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケータがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. ケースを Android デバイスの横に置きます。

デバイスにイヤホンのペアリングを促す通知が表示されます。

注: 通知が表示されない場合は、デバイスで Google Play Services アプリの通知が有効になっていることを確認してください。

3. 通知をタップします。

イヤホンが接続されると、接続完了を確認する通知が表示されます。

注: 通知のボタンをタップして Bose アプリをダウンロードし、イヤホンの設定を完了することもできます。

Snapdragon Soundテクノロジー

Bose Ultra Open Earbudsは、Snapdragon Soundテクノロジーを採用しています。Snapdragon Soundは、接続された機器全体でQualcomm®のオーディオ技術を最適化し、ストリーミングオーディオの音質、接続の安定性、遅延を最適な状態にします。

Snapdragon Soundを体験するには、対応するAndroidデバイスなど、Snapdragon Sound認定デバイスが必要です。イヤホンを接続すると、デバイスは自動的にaptX Adaptive Bluetoothコーデックを使用してオーディオをストリーミングします。

注: イヤホンでサポートされるSnapdragon Sound機能を確認し、デバイスが対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご参照ください。
support.Bose.com/UOE

BOSE SMART SPEAKER または BOSE SMART SOUNDBAR に接続する

SimpleSync テクノロジーにより、Bose Smart Speaker や Bose Smart Soundbar にイヤホンを接続して、自分だけのリスニングを楽しむことができます。

特長

- 製品ごとの音量を個別に調節できるので、イヤホンの音量はそのままにして、Bose Smart Soundbar の音量を下げたりミュートしたりできます。
- イヤホンを Bose Smart Speaker に接続して、隣の部屋で音楽をクリアな音で楽しむことができます。
- イヤホンを対応する Bose Smart Soundbar に接続すれば、パーソナルサラウンドにアクセスすることで、映画やテレビのサウンドに新たな次元が加わります (42 ページを参照)。

注: SimpleSync テクノロジーは、最大 9 m の *Bluetooth* 通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。

対応製品

イヤホンと Bose Smart Speaker または Bose Smart Soundbar を接続して、音楽を同時に再生することができます。

対応製品の例:

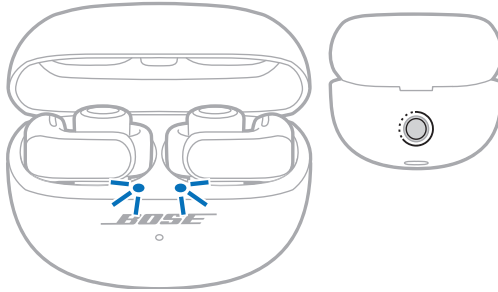
- Bose Smart Ultra Soundbar/Bose Ultra Soundbar
- Bose Smart Soundbar 900
- Bose Smart Soundbar 700/Bose Soundbar 700
- Bose Smart Soundbar 600
- Bose Soundbar 500
- Bose Smart Speaker 500/Bose Home Speaker 500
- Bose Home Speaker 300
- Bose Portable Smart Speaker/Bose Portable Home Speaker

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。 support.bose.com/Groups

Bose アプリを使用して接続する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. Bose アプリを使用して、イヤホンを対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/Groups

注:

- ・ 接続に最大30秒かかる場合があります。
- ・ イヤホンがサウンドバーやスピーカーから9 m以内にあることを確認してください。
- ・ イヤホンに一度に接続できる製品は1台だけです。

BOSE SMART SPEAKER または SOUNDBAR に再接続する

Bose アプリを使用して、以前に接続していた Bose 製品にイヤホンを再接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/Groups

注:

- ・ サウンドバーやスピーカーが通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- ・ イヤホンを再接続できない場合は、「以前に接続されていた Bose Smart Soundbar や Bose Smart Speaker とイヤホンを再接続できない」(55 ページ)をご覧ください。

対応する BOSE SMART SOUNDBAR でパーソナルサラウンドにアクセスする

イヤホンに対応する Bose Smart Soundbar に接続すれば、パーソナルサラウンドを使用して映画やテレビへの没入感をさらに高めることができます。

注: 現在、対応するサウンドバーには、Bose Smart Ultra Soundbar と Bose Smart Soundbar が含まれています。新しいサウンドバーも随時追加されます。

特長

- お気に入りのコンテンツの空間がさらに広がり、より没入感のあるものになります。イヤホンで、センター、ハイト、サラウンドのオーディオチャンネルをミックスして個別のサラウンドスピーカーのように再生することで、サウンドバーのオーディオが強化されます。
- 好みに合わせてオーディオ設定をカスタマイズできます。センターチャンネルのレベルを上げるとダイアログがより明瞭になり、ハイトチャンネルとサラウンドチャンネルのレベルを上げると没入感が増します。

注: パーソナルサラウンドは、サウンドバーから再生されるすべてのソースコンテンツに対して機能します。

パーソナルサラウンドを無効にする

イヤホンに対応する Bose Smart Soundbar に接続すると、デフォルトでパーソナルサラウンドが有効になります。イヤホンとサウンドバーの音量を個別に調節したい場合や、両方からすべてのオーディオチャンネルを再生したい場合は、パーソナルサラウンドを無効にすることができます。

パーソナルサラウンドを無効にするには、Bose アプリを使用します。このオプションはメイン画面から設定できます。

パーソナルサラウンドオーディオの設定を調整する

サウンドバーに対するイヤホンの音量調節や、センターチャンネルのレベルやハイトおよびサラウンドチャンネルのレベルの調整には、Bose アプリを使用します。これらのオプションにアクセスするには、メイン画面でグループの音量スライダーの ●●● をタップします。

イマーシブオーディオとパーソナルサラウンド有効時のショートカット

パーソナルサラウンドが有効な状態でイヤホンに対応する Bose Smart Soundbar に接続すると、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定され、左右のイヤホンでショートカットが一時的に無効になります。

イヤホンとサウンドバーの接続を解除するか、パーソナルサラウンドを無効にすると、イマーシブオーディオは以前の設定に戻り、ショートカットは再び有効になります。

イヤホンはIPX4 (防沫形)規格に適合しており、汗や悪天候の影響を受けにくいように設計されていますが、水に浸かった状態における防水性能はありません。

充電ケースはIPX1 (防滴I形)規格に適合しており、軽い垂直降雨のような軽い水濡れには耐えるように設計されていますが、水しぶきや水没を想定した防水性能ではありません。

注意:

- ・ イヤホンやケースを持ったまま泳いだりシャワーを浴びたりしないでください。
- ・ イヤホンやケースを水に沈めないでください。
- ・ ケースに水をかけないでください。

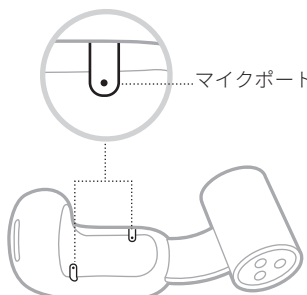
**注:**

- ・ 腐食を防ぐために、イヤホンの充電用接点を乾いた柔らかい綿棒や同等品で定期的に清掃してください。
- ・ IPX4およびIPX1は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

イヤホンを保管する

イヤホンを使用しないときは、充電ケースに収納します。バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

イヤホンと充電ケースのお手入れ

コンポーネント	手順
イヤホン	柔らかい綿棒や湿らせた布(水のみ)で拭きます。
マイクポート	皮脂やほこりの蓄積を防ぐには、定期的に柔らかい綿棒で拭くか、柔らかい毛のブラシで優しくブラッシングしてください。 注意: イヤホンを傷める恐れがあるため、マイクポートに空気を吹き込んだり、掃除機をかけたりしないでください。 
充電用接点(イヤホン)	腐食を防ぐために、乾いた柔らかい綿棒または同等品のみを使って拭いてください。
充電ケース	柔らかい綿棒や湿らせた布(水のみ)で拭きます。

注意: 溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。

交換部品とアクセサリ

交換部品とアクセサリは、Bose製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/UOE

保証

製品保証の詳細はworldwide.Bose.com/Warrantyをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト(worldwide.Bose.com/ProductRegistration)から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

イヤホンをアップデートする

イヤホンは、Bose アプリに接続してアップデートが利用可能な場合、自動的にアップデートを開始します。アプリの手順に従ってください。

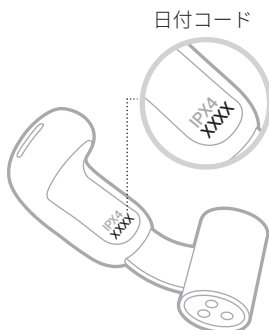
充電ケースをアップデートする

Bose カスタマーサービスから充電ケースのアップデートを指示された場合は、Bose Updater Web サイトを利用してアップデートできます。パソコンで btu.Bose.com にアクセスして、画面の手順に従ってください。

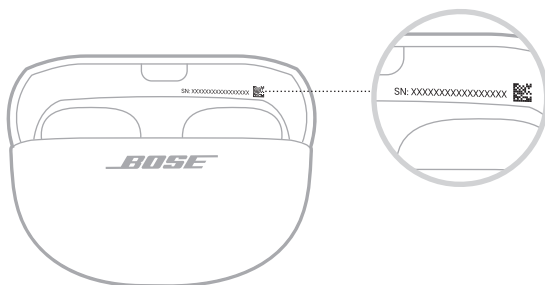
日付コード、シリアル番号、認証マークの位置

これらの情報は、イヤホンの平らな内面、充電ケースの蓋の内側、およびケースの底面に記載されています。

イヤホンを充電ケースから取り出し、折り曲げてバレル部分を開きます。日付コードと一部の認証マークは、イヤホンの平らな内面に記載されています。



シリアル番号とその他の認証マークは、充電ケースの蓋の内側に記載されています。



最初にお試しいただくこと

イヤホンに問題が生じた場合は、まず下記の点をご確認ください。

- ・ イヤホンと充電ケースを充電します (26 ページを参照)。
- ・ イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを閉じます (16 ページを参照)。もう一度ケースを開けて、イヤホンを取り出します (15 ページを参照)。
- ・ イヤホンのステータスインジケータ (30 ページを参照) と充電ケースのステータスインジケータ (32 ページを参照) を確認します。
- ・ 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします (14 ページを参照)。
- ・ 機器を干渉源や障害物から離して、イヤホンに近づけます (9 m 以内)。
- ・ イヤホン、機器、音楽再生アプリの音量を上げます。
- ・ お使いの機器が *Bluetooth* 接続に対応していることを確認します (33 ページを参照)。
- ・ Bose アプリをダウンロードして、入手可能なソフトウェアのアップデートを実行します (12 ページを参照)。
- ・ 別の機器と接続して試してみてください (12 ページを参照)。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。トラブルシューティングの記事、ビデオ、その他のリソースにアクセスすることもできます。 support.Bose.com/UOE

それでも問題が解決できない場合は、Bose カスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
イヤホンの電源が入らない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケータが充電状態に応じて点灯します (30 ページを参照)。 イヤホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。 「イヤホンを充電できない」 (53 ページ) をご覧ください。

症状	対処方法
イヤホンと機器を接続できない	機器の <i>Bluetooth</i> メニューを使用して接続します (33 ページを参照)。 機器の <i>Bluetooth</i> 機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 イヤホンのデバイスリストを消去します (37 ページを参照)。機器の <i>Bluetooth</i> リストからイヤホンを削除します (Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます (12 ページを参照)。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します (30 ページを参照)。もう一度接続してみます (12 ページを参照)。 両方のイヤホンが充電ケースに収納されていることを確認します (25 ページを参照)。 support.bose.com/UOE にアクセスして、解説ビデオを参照します。 イヤホンと充電ケースを再起動します (56 ページを参照)。
アプリでのセットアップ中にイヤホンが反応しない	機器の Bose アプリをアンインストールします。アプリを再インストールします (12 ページを参照)。 Bose アプリを使用してセットアップしていることを確認します (12 ページを参照)。 機器の設定メニューで、Bose アプリが <i>Bluetooth</i> 接続にアクセスできるようにになっていることを確認します。 機器の設定メニューで、<i>Bluetooth</i> 機能が有効であることを確認します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します (30 ページを参照)。イヤホンを取り出します。
Bose アプリでイヤホンを検出できない	機器の Bose アプリをアンインストールします。アプリを再インストールします (12 ページを参照)。 機器の設定メニューで、Bose アプリが <i>Bluetooth</i> 接続にアクセスできるようにになっていることを確認します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します (30 ページを参照)。イヤホンを取り出します。 イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。 「イヤホンと機器を接続できない」をご覧ください。

症状	対処方法
機器でBoseアプリが動作しない	お使いの機器がBoseアプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、機器のアプリストアをご参照ください。 機器のBoseアプリをアンインストールします。アプリを再インストールします(12ページを参照)。
イヤホンに不快感がある、安定していない	イヤホンを正しく装着していることを確認します(13ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。最高の音質とマイク性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。 support.bose.com/UOEにアクセスして、解説ビデオを参照します。
イヤリングやピアスをしているとイヤホンを快適に装着できない	イヤリングやピアスを外してから、イヤホンを装着します。イヤホンが安定した状態になったら、もう一度イヤリングやピアスをつけてください。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。最高の音質とマイク性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。イヤリングやピアスがあるためにその位置では不快な場合は、イヤホンを上下に少しスライドさせて最適な位置を探してください。 イヤホンのバレル部分の底にある磁石がイヤリングやピアスにくっつく場合は、イヤホンを上下に少しスライドさせて離してください。
Bluetooth接続が途切れる	イヤホンのデバイスリストを消去します(37ページを参照)。機器のBluetoothリストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(12ページを参照)。 機器を干渉源や障害物から離して、イヤホンに近づけます(9 m以内)。 イヤホンと充電ケースを再起動します(56ページを参照)。

症状	対処方法
音が出ない	左右のイヤホンは必ず正しい方の耳に装着します。各イヤホンのパレル部分にあるL(左)とR(右)のマークを確認してください。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。 support.bose.com/UOEにアクセスして、解説ビデオを参照します。 音量が上がっていることを確認します(17ページを参照)。 機器の再生ボタンを押して、音楽が再生されていることを確認します。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 機器に直接保存しているコンテンツを再生します。 機器を2台接続している場合は、もう1台の機器の再生を一時停止してください。 スピーカーポートにごみなどが詰まっていれば取り除きます。 機器を再起動します。
片側のイヤホンから音が出ない	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。 support.bose.com/UOEにアクセスして、解説ビデオを参照します。 Bose アプリのソフトウェアが最新であることを確認します(45ページを参照)。 スピーカーポートにごみなどが詰まっていれば取り除きます。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(30ページを参照)。 イヤホンを取り出します。
オーディオとビデオが同期していない	アプリケーションまたは音楽サービスを閉じてから再度開きます。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(30ページを参照)。 イヤホンを取り出します。

症状	対処方法
音質が悪い	左右のイヤホンは必ず正しい方の耳に装着します。各イヤホンのパレル部分にあるL(左)とR(右)のマークを確認してください。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。最高の音質とマイク性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。 support.bose.com/UOEにアクセスして、解説ビデオを参照します。 Bose アプリを使用してセットアップしていることを確認します(12ページを参照)。 別の曲を試してみてください。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 スピーカーポートにごみなどが詰まっていれば取り除きます。 機器が2台接続されている場合は、2台目の機器の接続を解除します。 機器や音楽再生アプリのオーディオ拡張機能をオフにします。 片方のイヤホンだけを装着している場合は、もう片方のイヤホンをケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。 イヤホンの接続で正しいBluetooth プロファイル(Stereo A2DP)が使用されていることを確認します。お使いの機器のBluetooth/オーディオ設定メニューで、正しいプロファイルが選択されていることを確認してください。 イヤホン、機器、音楽再生アプリの音量を下げます。 機器のBluetooth 機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 イヤホンのデバイスリストを消去します(37ページを参照)。機器のBluetooth リストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(12ページを参照)。
音が小さい	音量が上がっていることを確認します(17ページを参照)。 左右のイヤホンは必ず正しい方の耳に装着します。各イヤホンのパレル部分にあるL(左)とR(右)のマークを確認してください。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。最高の音質とマイク性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。 スピーカーポートが耳の穴に近づくように、イヤホンを少し下にずらしてみてください。 スピーカーポートにごみなどが詰まっていれば取り除きます。

症状	対処方法
低音が大きすぎる	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。最高の音質とマイク性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。 Bose アプリを使用して低音を調整します(19ページを参照)。 スピーカーポートが耳の穴から離れるように、イヤホンを少し上にずらしてみてください。
低音が小さすぎる	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。最高の音質とマイク性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。 Bose アプリを使用して低音を調整します(19ページを参照)。 スピーカーポートが耳の穴に近づくように、イヤホンを少し下にずらしてみてください。
左右のイヤホンの音量が異なる	音が小さい方のイヤホンを、もう一方のイヤホンの音量と同じになるまで、耳の上で少し下にずらします。
イマージブオーディオが正しく聞こえない、近すぎるように感じる	Bose アプリを使用して、耳に装着したイヤホンの位置に合わせてイマージブオーディオを調整します。このオプションは設定メニューから設定できます。
マイクが音を正常に拾わない	イヤホンが口や顎に向かって下に傾きすぎている可能性があります。鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。最高の音質とマイク性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。 もう一度電話をおかけ直してください。 マイクポートにごみなどが詰まっていれば取り除きます(44ページを参照)。 対応している別の機器で試してみてください。 静かな場所に移動してからやり直してください。 機器のBluetooth機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 イヤホンのデバイスリストを消去します(37ページを参照)。機器のBluetoothリストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(12ページを参照)。

症状	対処方法
モードを調整できない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(30ページを参照)。イヤホンを取り出します。 ショートカットを左右どちらか一方のイヤホン用にカスタマイズした場合は、正しいイヤホンのボタンを長押ししていることを確認します。 ショートカットを左右どちらか一方のイヤホン用にカスタマイズした場合は、Bose アプリを使用してもう片方のイヤホンにショートカットを割り当てて、やり直してください。Web サイト support.bose.com/UOE にアクセスして、解説ビデオを参照します。 Bose アプリを使用して、モードを調整します。このオプションは製品コントロール画面から設定できます(12ページを参照)。
通話中に相手の声が聞こえにくい	機器の音量を上げます。
イヤホンが反応しない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(30ページを参照)。イヤホンを取り出します。 イヤホンと充電ケースを再起動します(56ページを参照)。うまくいかない場合は、イヤホンを工場出荷時の設定に戻します(57ページを参照)。
ボタンを押してもイヤホンが反応しない	2回以上続けて押す操作の場合は、押す速度を変えてみてください。 音楽アプリが機能に対応していることを確認してください。 イヤホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。 自動音量調節が有効の場合は、「自動音量調節が有効の場合、音量を調節しても効果がほとんどない」(53ページ)を参照してください。 別の機器と接続して試してみてください。 イヤホンと充電ケースを再起動します(56ページを参照)。
ショートカットを使用できない	Bose アプリを使用してショートカットが設定されていることを確認します(20ページを参照)。 ショートカットを左右どちらか一方のイヤホン用にカスタマイズした場合は、正しいイヤホンのボタンを長押ししていることを確認します。 ショートカットを左右どちらか一方のイヤホン用にカスタマイズした場合は、Bose アプリを使用してもう片方のイヤホンにショートカットを割り当てて、やり直してください。Web サイト support.bose.com/UOE にアクセスして、解説ビデオを参照します。

症状	対処方法
自動音量調節が有効の場合、音量を調節しても効果がほとんどない	イヤホンがノイズに応じて音量を上げている場合、手動で音量を調節しても、基準音量設定を現在のレベルより上げない限り、効果は最小限が一時的なものにしかならない可能性があります。このような状況で音量を上げるには、イヤホンのコントロールまたは機器のコントロールを使用して、音量が変化するまで音量を上げ続けてください(18ページを参照)。音量を下げるには、Boseアプリを使用して自動音量調節を無効にしてから、音量を下げます(18ページを参照)。
自動音量調節が有効の場合、話をすると音量が大きくなる	自動音量調節は、周囲のノイズレベルを測定する際に、使用者の声をできるだけ無視するように設計されています。話をすると音量が大きくなる場合は、イヤホンが口や顎に向かって下に傾きすぎている可能性があります。鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(14ページを参照)。最高の音質とマイク性能を実現するには、イヤホンが耳に対して約45度の角度になるように調整してください。不快感がある場合や安定していない場合は、少し上下にスライドさせて最適な位置を探してください。
自動音量調節が有効の場合、ほかの人が話をすると音量が大きくなる	自動音量調節では、ほかの人の声が環境ノイズとして分類されます。つまり、大きな声に反応して音量が大きくなる場合があります。これを防ぐには、会話をする際は再生を一時停止するか(17ページを参照)、Boseアプリを使用して自動音量を無効にします。このオプションは設定メニューから設定できます。
イヤホンを充電できない	イヤホンが充電ケースに正しく収納されていることを確認します。バッテリーの寿命を保つために、イヤホンを充電している間はケースを閉じてください(25ページを参照)。 イヤホンの充電用接点やケースの充電端子に汚れやごみ、液体などが付着していないことを確認します。 ケースのイヤホン収納スペースの中からプラスチックフィルムを取り除き、イヤホンを収納する妨げにならないようにします。 USBケーブルが充電ケースの端子にしっかりと接続されていることを確認します。 USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。 別のUSBケーブルをお試しください。 別のウォールチャージャーをお試しください。 イヤホンや充電ケースが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。もう一度充電してみます(25ページを参照)。

症状	対処方法
充電ケースを充電できない	USBケーブルが充電ケースの端子にしっかりと接続されていることを確認します。 充電ケースのバッテリーが消耗している場合は、接続されているUSBケーブルの長さが十分であることを確認し、初期充電を行います。ケーブルを外して、充電ケースのステータスインジケーターが消えたら、USBケーブルを接続し直してください。 USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。 別のUSBケーブルをお試しください。 充電ケースが閉じていることを確認します。バッテリーの寿命を保つために、充電中はケースを閉じてください。 別のウォールチャージャーをお試しください。 充電ケースが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。もう一度充電してみます(27ページを参照)。 充電ケースが水に濡れた場合は、USB-Cポートが完全に乾くまでお待ちください。もう一度充電してみます(27ページを参照)。 充電ケースの付属品が正しく取り付けられ、USBケーブルを充電ケースの端子にしっかりと接続するための妨げになっていないことを確認します。
イヤホンのバッテリー駆動時間が予想より短い	バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。イマージンオーディオや自動音量調節がオンになっている場合は、Boseアプリを使用して無効にすると、バッテリー駆動時間が長くなります。詳しくは、29ページをご覧ください。
音声ガイドの言語が正しくない	Boseアプリを使用して音声ガイドの言語を変更します(12ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。
着信が通知されない	機器がおやすみモードに設定されていないことを確認します。 Boseアプリを使用して音声ガイドを有効にしていることを確認します(12ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。 機器のBluetoothメニューで、イヤホンが連絡先にアクセスできるように設定されていることを確認します。
イヤホンにBose Smart SoundbarまたはBose Smart Speakerに接続できない	対応しているBose製品を接続していることを確認します。対応製品のリストについては、次のサイトをご覧ください： support.Bose.com/Groups イヤホンに充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。 イヤホンがサウンドバーやスピーカーから9 m以内にあることを確認してください。

症状	対処方法
以前に接続されていた Bose Smart Soundbar や Bose Smart Speaker とイヤホンを再接続できない	イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケータがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。Bose アプリを使用して、イヤホンを対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/Groups
Bose Smart Soundbar または Bose Smart Speaker に接続すると音が遅れて再生される	Bose アプリをダウンロードして、入手可能なソフトウェアのアップデートを実行します。
イヤホンを対応する Bose Smart Soundbar に接続し、パーソナルサラウンドを有効にすると、イヤホンの音量が小さくなるか、音声バランスが悪くなる	Bose アプリを使用して、サウンドバーに対するイヤホンの音量調節や、センターチャンネルのレベルやハイトおよびサラウンドチャンネルのレベルの調整ができます。これらのオプションにアクセスするには、メイン画面でグループの音量スライダーの ●●● をタップします。
パーソナルサラウンドに対応する Bose Smart Soundbar に接続すると、ショートカットにアクセスできない	デフォルトでは、イヤホンを対応する Bose Smart Soundbar に接続すると、パーソナルサラウンドが有効になります(42 ページを参照)。パーソナルサラウンドが有効の間は、左右のイヤホンでショートカットが無効になります。ショートカットにアクセスするには、Bose アプリを使用してパーソナルサラウンドを無効にします。このオプションはメイン画面から設定できます。

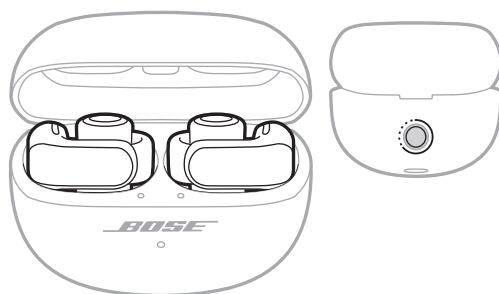
イヤホンと充電ケースをリセットする

イヤホンや充電ケースが反応しない場合は、リセットすることができます。

注: イヤホンを再起動すると、イヤホンのデバイスリストが消去されます。他の設定は消去されません。

イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、ケース背面のボタンを最大30秒間長押しします。イヤホンのステータスインジケーターが白く2回点滅し、その後ゆっくりと青く点滅してから消灯します。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



リセットが完了すると、充電状態に応じてイヤホンのステータスインジケーターが点灯してから、ゆっくりと青く点滅します(30ページを参照)。現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(32ページを参照)。

イヤホンを工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、すべての設定が消去され、イヤホンが箱から出したときの状態に戻ります。その後、初めてイヤホンをセットアップするときのように設定することができます。

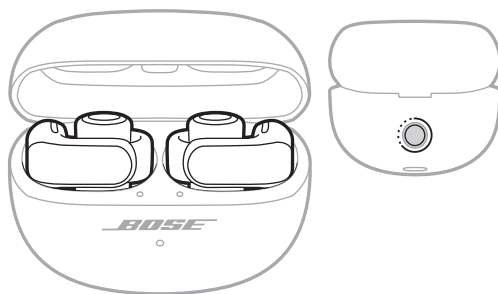
工場出荷時の設定へのリセットは、イヤホンに問題がある場合や、**Bose** カスタマーサービスから指示された場合にのみ行うようにしてください。

1. 機器の *Bluetooth* リストからイヤホンを削除します。
2. **Bose** アプリを使用して、**Bose** アカウントからイヤホンを削除します。

注: **Bose** アプリで **Bose** アカウントからイヤホンを削除する方法の詳細については、次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/UOE

3. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、ケース背面のボタンを最大**30秒**間長押しします。イヤホンのステータスインジケーターが白く2回点滅し、その後ゆっくりと青く点滅してから消灯します。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



4. 前の手順を2回繰り返します。

3回目の実行後、ステータスインジケーターが**3秒間オレンジ**に点滅し、工場出荷時の設定に戻していることを示します。

復元が完了すると、ステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅します。これでイヤホンは、箱から出したときの状態に戻っています。

注: それでも問題が解決できない場合は、support.Bose.com/UOEでその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。

